



～スピンの発見から 100 年～

電子が持つ磁性「スピン」が 1925 年に発見されてからちょうど 100 年になる。

本講演ではスピンの性質を紹介し、人類がそれを操れるようになり、現代の電子機器に使われるようになった歴史を解説する。

また、未来社会に向けたスピンの最先端の研究についても紹介する。

【日時】 10/15(土) 13:00～13:45

【会場】 2008 ノーベル賞展示室 (ES 総合館 2 階)

【司会】 寺崎 一郎 (名古屋大学大学院理学研究科 研究科長)

【講師】 小森 祥央 (名古屋大学大学院理学研究科 助教)

※事前登録不要、先着 20 名

同時開催

アイザック・ニュートン著

「プリンキピア」特別展示

ニュートンによる運動の 3 原則がまとめられた教科書原本を特別展示する

【展示期間】 10/11(火)～22(土)

